

高い技術力・積極的な 研究開発を強みに、 全国各地で固定客を掴む

特許を活用した製品開発により、高付加価値の実現・製品の差別化を図る。
新工場を建設し、更なる発展を目指す。

所在地：福岡県大野城市瓦田 4-14-7
TEL 092-581-8433
FAX 092-581-5237
URL : <http://www.hiranoya-bussan.com>

代表取締役 谷 可成
設立：1959年(昭和34年)
資本金：5,000万円
従業員数：106名



老舗の包装資材製造業者として、高い技術力・積極的な研究開発を強みに固定客を掴む

1957年に創業、フレキシブルパッケージ（食品・生活用品等の包装資材）の製造をてがける。特許を活用した製品開発を行い、製品の高付加価値化・差別化を図り、高収益体制を目指す。



老舗の包装資材製造業者として、高い技術力・積極的な研究開発を強みに全国各地で固定客を掴んでおり、強固な事業基盤を築いている。

特許を活用し、付加価値の高い製品開発を行う

同社は、食品や日用品の包装を目的として、顧客のデザインに応じたオーダーメイド品から高機能開発品まで、各種フレキシブルパッケージの開発・企画・製造を行っている。

包装資材には、中身の商品を適切に包装する機能に加え、ユーザーの利便性（開封し易さ）や中身商品の訴求力の向上等が求められる。同社開発の特許技術を活かしたパッケージ製品は、高い機能性（易開封装置：ラインパウチ）や特徴ある外観（変形スタンド袋）を実現することにより、高付加価値（利便性、訴求力）を提供している。



高度化するユーザー要求品質に対応する新工場。新たな雇用も計画

同社は、積極的に従業員の採用をおこない、現に100名以上の従業員を有している。定年退職者の再雇用等、従業員の福利厚生にも力を入れている。

また、福岡県うきは市に新工場を建設（2013年12月一期工事竣工）。生産機械の導入、室内環境（クリーン度）向上により、高度化するユーザー要求品質に対応する。新工場は、排熱の再利用や設備のモジュール化等により環境調和型の工場としている。



今後、増産体制の確立に伴い、雇用創出効果が期待される。